

2018年12月 (No.354)

## 主な内容とページ

大型 M&A の中止とメモリーブーム.....	1
13 兆円買収劇の崩壊.....	2
国家、政治の影響力は増大.....	3
大手 2 社が抱えた社内事情とメモリーブーム.....	4
半導体産業での 2018 年の主だった M&A.....	5
車分野、活発な動き.....	9
半導体関連 IPO、18 年は 5 社.....	11
明るすぎる照明(SRL だより).....	13

---

## 大型 M&A の中止とメモリーブーム

今年も残すところあとわずか。どのような年だったか、まとめた。

1. 2年越しにわたる半導体産業で史上最大規模となるクアルコムによる NXP の買収交渉、ブロードコムによるクアルコムへの敵対的買収、いずれも中止となった。
2. わが国東芝のメモリ事業売却も 2年越しとなったが、認可が取れ、6月1日付けで実行された。
3. これら大型 M&A の可否は中国が多大な影響を及ぼし、米中貿易戦争からさらに様相は混迷の度合いを深めている。

## 明るすぎる照明

クリスマスに向けて華やかな飾りが随所でみられる。LED 照明が一般化し、電飾はよりきらびやかで、わくわくさせてくれるような効果をもたらしていると思う。つい財布の紐が緩んでしまうということがねらいだろうが、年に一度の行事で、結構なこと。景気が良くなれば、それに越したことはない。

照明といえば、LED 照明には慣れて来たが、コンビニなど明るすぎる。車のライトもまぶしすぎる例がある。とくに家の照明は隅々まで明るく『世界中でも日本だけだということです。そしてそれは“光の文化”の観点からいえば、豊かなことではありません』(東海林弘靖氏\*)。西欧では暮らしに光と闇を編み入れて楽しんでいるという。

年のせいもあるが、薄型 TV、パソコン、スマホの画面など常に接し、目が疲れることが増えている。たまには、それらから離れて、暗めの暖かい昼光色の光の下で過ごす。寝る前にこのような時間を楽しめば、睡眠に良いようだ。LED の進歩、発展は頼もしい限りだが、人や社会にやさしい照明に期待したい。

(大竹 修)

\*「日本の照明はまぶしすぎる」東海林弘靖氏著、11 年 8 月角川書店発行から

本誌の内容一覧、索引は、SRL(半導体総合研究所)ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

### SRL Monthly Report

2018 年 12 月(毎月 1 回発行)第 29 巻 12 号(通巻 354 号)

発行元:株式会社 SRL

〒188-0014 東京都 西東京市 芝久保町 3-1-35

TEL 042-439-5317 FAX 042-439-5023

編集・発行人/大竹 修

### SRL Monthly Report

December 2018, No.354

Semicon Research Ltd.

3-1-35 Shibakubo-Cho, Nishitokyo-City, Tokyo 188-0014

Japan Mail: info@semiconresearch.co.jp

Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2018

購読料金1年分(12号)98,000円(税別)